



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス

コード番号 2754 URL http://www.tkhd.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 輝 TEL 047-346-1190

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,358	△4.8	266	△6.3	279	△6.1	177	△5.6
2019年3月期第3四半期	5,627	0.5	284	△15.6	298	△13.4	188	△12.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 177百万円 (△5.6%) 2019年3月期第3四半期 188百万円 (△12.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	36.77	35.55
2019年3月期第3四半期	38.95	37.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,073	4,354	71.1
2019年3月期	6,511	4,219	64.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,316百万円 2019年3月期 4,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2020年3月期	-	0.00	-		
2020年3月期 (予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,792	0.1	435	12.0	435	7.1	274	7.7	56.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	4,840,000株	2019年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,701株	2019年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	4,838,299株	2019年3月期3Q	4,838,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)におけるわが国の経済環境は、企業収益の改善の動きは横ばいの状況であり、個人消費についても消費税率の引き上げに伴う影響もあり一時的な落ち込みはみられるものの、雇用環境等は改善の動きを続けており、全体では緩やかに回復しつつある状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、登録車(普通自動車)、届出車(軽自動車)とも、期首よりモデルチェンジ等の効果が持続している車種を中心に販売は堅調に推移していましたが、昨年10月に実施された消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けたこと等から当第3四半期連結累計期間の国内新車販売台数は3,667,001台(登録車(普通自動車)・届出車(軽自動車)の合計。前年同四半期比1.7%減)となりました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

自動車販売につきましては、新車販売は消費税率の引き上げに伴う影響のほか、量販車種において新型車の不具合による納期の遅延並びに発売延期等の要因もあり販売台数は1,543台(前年同四半期比10.4%減)となりました。中古車販売も下取車や外部仕入により販売車両の確保に努めましたが、消費税率の引き上げに伴う影響もあり販売台数は1,206台(前年同四半期比5.8%減。内訳：小売台数545台(前年同四半期比3.4%減)、卸売台数661台(前年同四半期比7.7%減)となりました。定期点検、車検等の整備を割安でパックにした商品の拡販等により整備車両の確保に注力したサービス売上は堅調に推移したものの、車両販売台数の減少により登録受取手数料等の手数料収入は減少したことから売上高は5,279百万円(前年同四半期比4.8%減)となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業において、商品構成の変化等により1件当たりの保険取扱手数料は増加したものの、保険契約件数が減少したこと等から売上高は78百万円(前年同四半期比1.5%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は5,358百万円(前年同四半期比4.8%減)となり、営業利益は266百万円(前年同四半期比6.3%減)、経常利益は279百万円(前年同四半期比6.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は177百万円(前年同四半期比5.6%減)となりました。

これは、中核事業である自動車販売関連事業の売上高が、前年同四半期に比べて減少したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は2,792百万円となり、前連結会計年度末に比べて704百万円減少いたしました。これは商品及び製品が159百万円、その他の流動資産が9百万円それぞれ増加、現金及び預金が741百万円、受取手形及び売掛金が133百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は3,281百万円となり、前連結会計年度末に比べて267百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が276百万円増加、投資その他の資産が8百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は6,073百万円となり、前連結会計年度末に比べて437百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は1,482百万円となり、前連結会計年度末に比べて585百万円減少いたしました。これは主に買掛金が148百万円、短期借入金が203百万円、1年内返済予定の長期借入金が29百万円、賞与引当金が31百万円、未払法人税等が37百万円、その他の流動負債が135百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は236百万円となり、前連結会計年度末に比べて12百万円増加いたしました。これはその他の固定負債が12百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は1,718百万円となり、前連結会計年度末に比べて572百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,354百万円となり、前連結会計年度末に比べて135百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益177百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は71.1%(前連結会計年度末は64.3%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ741百万円減少し、当四半期連結会計期間末には1,234百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は161百万円(前年同四半期は112百万円の獲得)となりました。これは税金等調整前四半期純利益279百万円から主に減価償却費84百万円、売上債権の減少額71百万円、賞与引当金の減少額31百万円、たな卸資産の増加額214百万円、仕入債務の減少額148百万円、その他の負債の減少額61百万円及び法人税等の支払額138百万円等を調整したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は298百万円(前年同四半期は21百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出306百万円、貸付金の回収による収入8百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は281百万円(前年同四半期は220百万円の使用)となりました。これは借入金の返済による支出233百万円及び配当金の支払額48百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,975,522	1,234,284
受取手形及び売掛金	1,033,277	899,854
商品及び製品	403,327	563,123
その他	85,037	94,938
流動資産合計	3,497,165	2,792,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	468,713	443,782
機械装置及び運搬具(純額)	197,990	197,666
土地	2,109,461	2,420,008
建設仮勘定	10,800	2,458
その他(純額)	4,918	4,428
有形固定資産合計	2,791,883	3,068,344
無形固定資産	528	219
投資その他の資産	221,481	212,658
固定資産合計	3,013,893	3,281,222
資産合計	6,511,059	6,073,422
負債の部		
流動負債		
買掛金	473,995	325,758
短期借入金	1,014,354	810,371
1年内返済予定の長期借入金	29,145	—
未払法人税等	59,756	22,748
賞与引当金	50,224	19,140
その他	439,832	304,263
流動負債合計	2,067,307	1,482,281
固定負債		
その他	223,945	236,309
固定負債合計	223,945	236,309
負債合計	2,291,253	1,718,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,776,291	3,905,828
自己株式	△673	△673
株主資本合計	4,187,199	4,316,737
新株予約権	32,606	38,093
純資産合計	4,219,806	4,354,830
負債純資産合計	6,511,059	6,073,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,627,584	5,358,258
売上原価	4,370,304	4,118,257
売上総利益	1,257,279	1,240,001
販売費及び一般管理費	972,648	973,430
営業利益	284,630	266,571
営業外収益		
受取利息	806	677
受取手数料	12,881	11,666
その他	4,918	4,964
営業外収益合計	18,606	17,308
営業外費用		
支払利息	5,070	3,953
その他	100	0
営業外費用合計	5,171	3,954
経常利益	298,065	279,925
特別損失		
固定資産処分損	2,583	—
特別損失合計	2,583	—
税金等調整前四半期純利益	295,482	279,925
法人税等	107,023	102,004
四半期純利益	188,458	177,920
親会社株主に帰属する四半期純利益	188,458	177,920

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	188,458	177,920
四半期包括利益	188,458	177,920
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188,458	177,920
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	295,482	279,925
減価償却費	93,343	84,537
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,739	△31,084
株式報酬費用	5,186	5,487
受取利息及び受取配当金	△806	△677
支払利息	5,070	3,953
固定資産処分損益(△は益)	2,583	—
売上債権の増減額(△は増加)	257,655	71,528
たな卸資産の増減額(△は増加)	△211,891	△214,333
仕入債務の増減額(△は減少)	△96,009	△148,237
その他の資産の増減額(△は増加)	15,092	△8,484
その他の負債の増減額(△は減少)	△53,865	△61,742
小計	284,102	△19,127
利息及び配当金の受取額	29	29
利息の支払額	△5,131	△3,956
法人税等の支払額	△166,011	△138,546
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,989	△161,600
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,516	△306,209
貸付金の回収による収入	8,046	8,046
差入保証金の差入による支出	△486	△579
差入保証金の回収による収入	413	614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,543	△298,127
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△134,828	△203,982
長期借入金の返済による支出	△37,503	△29,145
配当金の支払額	△48,382	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,714	△281,510
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△129,268	△741,238
現金及び現金同等物の期首残高	1,665,513	1,975,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,536,244	1,234,284

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
外部顧客への売上高	5,547,982	79,601	5,627,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	79	133,997	134,077
計	5,548,061	213,599	5,761,661
セグメント利益	387,341	26,095	413,437

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	387,341
「その他」の区分の利益	26,095
セグメント間取引消去	3,181
全社費用(注)	△131,989
四半期連結損益計算書の営業利益	284,630

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
外部顧客への売上高	5,279,844	78,413	5,358,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	142	134,558	134,701
計	5,279,987	212,972	5,492,960
セグメント利益	388,606	25,456	414,062

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び鍍金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

これまで「新車販売」、「中古車販売」をそれぞれ別の連結子会社で運営しており、前期に当該2社を合併した後もそのまま踏襲しておりましたが、よりの確な経営判断を行うために報告セグメントを見直し、「自動車販売」全体として見ることにしたことから、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、セグメントの区分を変更した後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	388,606
「その他」の区分の利益	25,456
全社費用(注)	△147,491
四半期連結損益計算書の営業利益	266,571

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。